



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月13日

上場会社名 センコーグループホールディングス株式会社 上場取引所 東
コード番号 9069 URL <https://www.senkogrouphd.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福田 泰久
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 広報・IR担当 (氏名) 小久保 悟 TEL 03-6862-8842
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 2023年12月4日
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	379,678	13.4	14,771	13.2	14,961	11.8	8,857	11.0
2023年3月期第2四半期	334,804	11.3	13,046	11.5	13,381	11.8	7,983	14.8

（注）包括利益 2024年3月期第2四半期 13,002百万円（7.6%） 2023年3月期第2四半期 12,086百万円（54.8%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	59.20	52.41
2023年3月期第2四半期	53.57	47.43

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	612,505	194,245	27.9	1,134.85
2023年3月期	581,850	179,103	27.6	1,075.69

（参考）自己資本 2024年3月期第2四半期 170,607百万円 2023年3月期 160,510百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	17.00	—	17.00	34.00
2024年3月期	—	19.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	19.00	38.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	780,000	12.0	29,700	16.3	29,700	13.6	17,000	10.8	113.62

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	157,070,496株	2023年3月期	157,070,496株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	6,736,476株	2023年3月期	7,853,758株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	149,609,109株	2023年3月期2Q	149,011,419株

2018年3月期第3四半期連結会計期間より、期末自己株式には、株式付与E S O P信託口の保有する当社株式（2024年3月期2Q 805,545株、2023年3月期 334,566株）及び役員報酬B I P信託口の保有する当社株式（2024年3月期2Q 788,972株、2023年3月期 316,723株）を含めております。また、2023年3月期第4四半期連結会計期間より、期末自己株式には、従業員持株会支援信託E S O Pの保有する当社株式（2024年3月期2Q 4,644,700株、2023年3月期 5,255,100株）を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、【添付資料】4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・四半期決算補足説明資料については、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2023年4月1日～2023年9月30日 以下「当第2四半期」)における経済環境は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたことで、経済活動が正常化に向かう一方、ウクライナ情勢の長期化、中国経済の先行き懸念、物価上昇による節約志向の高まりなど、依然として、先行き不透明な状況が続いております。

当第2四半期の連結業績は、以下のとおりです。

(百万円)

	前第2四半期	当第2四半期	増減額	増減率
営業収益	334,804	379,678	44,874	13.4%
営業利益	13,046	14,771	1,724	13.2%
経常利益	13,381	14,961	1,579	11.8%
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,983	8,857	874	11.0%

物流事業における荷動き低下の影響や、仕入価格の上昇などがありましたが、拡販ならびに料金・価格改定などにグループ全体で取り組むと共に、M&Aを推進した結果、営業収益、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益ともに前年同期を上回る結果となりました。

当第2四半期のセグメント別の状況は以下のとおりです。

(物流事業)

(百万円)

	前第2四半期	当第2四半期	増減額	増減率
営業収益	236,591	243,194	6,603	2.8%
セグメント利益	12,387	12,611	224	1.8%

荷動き低下の影響などがありましたが、拡販ならびに料金改定に取り組むと共に、M&Aを推進した結果、営業収益は2,431億94百万円と対前年同期比66億3百万円の増収、セグメント利益は126億11百万円と対前年同期比2億24百万円の増益となりました。

(商事・貿易事業)

(百万円)

	前第2四半期	当第2四半期	増減額	増減率
営業収益	77,326	83,022	5,696	7.4%
セグメント利益	1,020	1,082	61	6.0%

仕入価格の上昇などがありましたが、価格改定ならびに拡販などに努めたことにより、営業収益は830億22百万円と対前年同期比56億96百万円の増収、セグメント利益は10億82百万円と対前年同期比61百万円の増益となりました。

(ライフサポート事業)

(百万円)

	前第2四半期	当第2四半期	増減額	増減率
営業収益	16,058	23,095	7,036	43.8%
セグメント利益 又は損失(△)	△6	624	630	—

M&Aの収益寄与ならびに価格改定などに努めたことにより、営業収益は230億95百万円と対前年同期比70億36百万円の増収、セグメント利益は6億24百万円と対前年同期比6億30百万円の増益となりました。

(ビジネスサポート事業)

(百万円)

	前第2四半期	当第2四半期	増減額	増減率
営業収益	4,824	6,514	1,689	35.0%
セグメント利益	460	896	435	94.5%

拡販ならびにホテル事業の回復などに努めたことにより、営業収益は65億14百万円と対前年同期比16億89百万円の増収、セグメント利益は8億96百万円と対前年同期比4億35百万円の増益となりました。

(プロダクト事業)

(百万円)

	前第2四半期	当第2四半期	増減額	増減率
営業収益	—	23,694	23,694	—
セグメント利益	—	321	321	—

前期に連結子会社化した食品包装容器メーカーの中央化学株式会社の営業収益は236億94百万円、営業利益は3億21百万円となりました。

なお、中央化学株式会社を連結の範囲に含めたことに伴い、前第4四半期連結会計期間より新たにプロダクト事業セグメントを追加したため、前年同期比を記載していません。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(総資産)

当第2四半期末における総資産は、6,125億5百万円となり、前期末に比べ306億54百万円増加いたしました。

流動資産は、2,143億22百万円となり、前期末に比べ125億49百万円増加いたしました。これは、現金及び預金が68億55百万円、受取手形、営業未収入金及び契約資産が50億44百万円増加したことなどによるものです。

固定資産は、3,981億82百万円となり、前期末に比べ181億5百万円増加いたしました。これは、有形固定資産が117億3百万円、無形固定資産が28億42百万円、投資その他の資産が35億59百万円増加したことなどによるものです。

(負債)

当第2四半期末における負債合計は、4,182億60百万円となり、前期末に比べ155億13百万円増加いたしました。

流動負債は、1,548億34百万円となり、前期末に比べ105億22百万円減少いたしました。これは、支払手形及び営業未払金が17億77百万円、リース債務が9億26百万円、賞与引当金が6億24百万円増加したものの、短期借入金金が89億66百万円、その他流動負債が52億30百万円減少したことなどによるものです。

固定負債は、2,634億25百万円となり、前期末に比べ260億35百万円増加いたしました。これは、長期借入金が243億87百万円、長期リース債務が10億24百万円、繰延税金負債が7億34百万円増加したことなどによるものです。

(純資産)

当第2四半期末における純資産は、1,942億45百万円となり、前期末に比べ151億41百万円増加いたしました。これは、利益剰余金が62億20百万円、自己株式が10億79百万円、為替換算調整勘定が21億7百万円、非支配株主持分が50億59百万円増加したことなどによるものです。自己資本比率は前期末から0.3ポイント上昇し、27.9%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期末における現金及び現金同等物は、前期末に比べ、67億65百万円増加し、629億12百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、220億49百万円の収入となりました。これは、税金等調整前四半期純利益が150億36百万円、減価償却費が129億79百万円、のれん償却費が6億95百万円あったものの、売上債権及び契約資産の増加による資金の減少が44億69百万円、法人税等の支払額として50億24百万円支出したことなどによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは248億1百万円の支出となりました。これは、有形固定資産の取得に218億43百万円、差入保証金の差入に12億58百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得に15億93百万円支出したことなどによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、83億60百万円の収入となりました。これは、短期借入金の純減額が77億8百万円、長期借入金の返済に74億23百万円、ファイナンス・リース債務の返済に41億95百万円、配当金の支払額に26億30百万円支出したものの、長期借入れによる収入が306億29百万円あったことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の通期連結業績予想につきましては、当第2四半期の連結業績及び足元の状況を踏まえ、2023年5月12日に公表しました通期連結業績予想を以下のとおり修正いたしました。

なお、詳細につきましては、本日公表の「通期連結業績予想の修正及び剰余金の配当（中間配当・増配）に関するお知らせ」をご覧ください。

2024年3月期通期 連結業績予想数値（2023年4月1日～2024年3月31日）

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	790,000	29,000	29,000	16,700	111.92
今回発表予想 (B)	780,000	29,700	29,700	17,000	113.62
増減額 (B-A)	△10,000	700	700	300	
増減率 (%)	△1.3	2.4	2.4	1.8	
前期実績 (2023年3月期)	696,288	25,535	26,151	15,341	102.90

<ご参考> 利益配分に関する基本方針及び当期の配当について

当社は、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、株主の皆様への利益還元を充実させるため、安定配当に加え、業績連動を考慮した配当を実施することを利益配分に関する基本方針とし、本中期経営計画（2022年4月～2027年3月）の最終年度までに配当性向40%を目指して配当していく方針であります。

この基本方針のもと、2024年3月期の中間配当金につきましては、当第2四半期連結累計期間の連結業績が順調に推移したことを勘案し、直近の配当予想から2円増配し、1株当たり19円とさせていただきます。これにより、2024年3月期の年間配当予想は、期末配当金19円を含めまして、1株当たり38円となります。

	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	合計
配 当 予 想		19円00銭	38円00銭
当 期 実 績	19円00銭		
前 期 実 績 (2023年3月期)	17円00銭	17円00銭	34円00銭

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	58,583	65,439
受取手形、営業未収入金及び契約資産	97,197	102,241
電子記録債権	4,476	5,164
商品及び製品	20,197	20,875
仕掛品	909	837
原材料及び貯蔵品	3,136	3,107
その他	17,332	16,725
貸倒引当金	△59	△70
流動資産合計	201,773	214,322
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	111,914	116,116
土地	114,478	118,493
その他(純額)	64,218	67,706
有形固定資産合計	290,612	302,315
無形固定資産		
のれん	11,727	13,366
その他	13,553	14,756
無形固定資産合計	25,280	28,122
投資その他の資産		
投資有価証券	20,248	21,939
長期貸付金	541	420
退職給付に係る資産	10,207	10,742
差入保証金	17,034	18,172
繰延税金資産	5,571	5,618
その他	11,360	11,630
貸倒引当金	△780	△780
投資その他の資産合計	64,184	67,744
固定資産合計	380,077	398,182
資産合計	581,850	612,505

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	56,058	57,835
電子記録債務	11,091	11,570
短期借入金	40,543	31,576
リース債務	6,892	7,818
未払法人税等	5,113	5,220
賞与引当金	7,544	8,168
役員賞与引当金	420	245
災害損失引当金	170	106
その他	37,521	32,291
流動負債合計	165,357	154,834
固定負債		
社債	40,000	40,000
転換社債型新株予約権付社債	22,054	22,040
長期借入金	124,292	148,680
リース債務	25,022	26,046
役員退職慰労引当金	608	573
特別修繕引当金	256	322
株式給付引当金	494	—
退職給付に係る負債	8,479	8,723
資産除去債務	2,044	2,598
繰延税金負債	7,973	8,707
その他	6,163	5,731
固定負債合計	237,389	263,425
負債合計	402,747	418,260
純資産の部		
株主資本		
資本金	28,479	28,479
資本剰余金	31,318	31,288
利益剰余金	101,984	108,205
自己株式	△7,712	△6,633
株主資本合計	154,070	161,339
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,668	2,313
繰延ヘッジ損益	△2	73
為替換算調整勘定	3,082	5,189
退職給付に係る調整累計額	1,690	1,690
その他の包括利益累計額合計	6,439	9,267
新株予約権	366	351
非支配株主持分	18,226	23,286
純資産合計	179,103	194,245
負債純資産合計	581,850	612,505

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業収益	334,804	379,678
営業原価	285,927	320,046
営業総利益	48,876	59,632
販売費及び一般管理費	35,829	44,860
営業利益	13,046	14,771
営業外収益		
受取利息	49	109
受取配当金	120	138
為替差益	257	363
その他	1,251	1,156
営業外収益合計	1,679	1,767
営業外費用		
支払利息	723	1,071
その他	621	505
営業外費用合計	1,344	1,577
経常利益	13,381	14,961
特別利益		
投資有価証券売却益	—	153
補助金収入	206	92
保険解約返戻金	—	84
固定資産売却益	120	76
負ののれん発生益	92	—
特別利益合計	419	407
特別損失		
固定資産除却損	64	99
固定資産圧縮損	206	92
創立記念関連費用	—	75
支払補償金	—	64
事業所撤退損	112	—
特別損失合計	382	332
税金等調整前四半期純利益	13,418	15,036
法人税、住民税及び事業税	4,437	4,993
法人税等調整額	460	503
法人税等合計	4,898	5,497
四半期純利益	8,520	9,538
非支配株主に帰属する四半期純利益	536	681
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,983	8,857

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	8,520	9,538
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	99	682
繰延ヘッジ損益	63	82
為替換算調整勘定	2,858	2,191
退職給付に係る調整額	△85	△5
持分法適用会社に対する持分相当額	630	512
その他の包括利益合計	3,566	3,463
四半期包括利益	12,086	13,002
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,931	11,685
非支配株主に係る四半期包括利益	1,155	1,317

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	13,418	15,036
減価償却費	10,726	12,979
のれん償却額	646	695
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	169	8
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△430	△534
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△242	20
賞与引当金の増減額 (△は減少)	638	538
株式給付引当金の増減額 (△は減少)	△5	△494
受取利息及び受取配当金	△170	△247
為替差損益 (△は益)	△257	△363
支払利息	723	1,071
固定資産売却損益 (△は益)	△114	△70
固定資産圧縮損	206	92
補助金収入	△206	△92
投資有価証券売却損益 (△は益)	△12	△153
保険解約返戻金	—	△84
負ののれん発生益	△92	—
固定資産除却損	64	99
創立記念関連費用	—	75
支払補償金	—	64
事業所撤退損	112	—
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	7,024	△4,469
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,009	△572
未払債務の増減額 (△は減少)	△4,327	471
その他	△165	3,426
小計	26,694	27,499
補助金の受取額	206	92
利息及び配当金の受取額	140	539
利息の支払額	△723	△1,056
法人税等の支払額	△5,071	△5,024
営業活動によるキャッシュ・フロー	21,246	22,049
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,419	△1,826
定期預金の払戻による収入	1,942	1,847
有形固定資産の取得による支出	△13,802	△21,843
有形固定資産の売却による収入	464	158
無形固定資産の取得による支出	△301	△313
投資有価証券の取得による支出	△247	△668
差入保証金の差入による支出	△1,277	△1,258
差入保証金の回収による収入	1,208	162
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△4,050	△1,593
その他	△355	535
投資活動によるキャッシュ・フロー	△17,841	△24,801
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△16,327	△7,708
長期借入れによる収入	42,647	30,629
長期借入金の返済による支出	△3,192	△7,423
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△3,034	△4,195
配当金の支払額	△2,540	△2,630
非支配株主への配当金の支払額	△236	△444
その他	△43	132
財務活動によるキャッシュ・フロー	17,271	8,360
現金及び現金同等物に係る換算差額	987	1,157
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	21,664	6,765
現金及び現金同等物の期首残高	42,193	56,147
現金及び現金同等物の四半期末残高	63,858	62,912

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	物流事業	商事・貿易 事業	ライフ サポート 事業	ビジネス サポート 事業	プロダクト 事業	計		
営業収益								
外部顧客への営業収益	236,591	77,326	16,058	4,824	—	334,801	2	334,804
セグメント間の 内部営業収益又は 振替高	1,934	6,962	74	3,483	—	12,455	△12,455	—
計	238,525	84,289	16,133	8,308	—	347,256	△12,452	334,804
セグメント利益 又は損失(△)	12,387	1,020	△6	460	—	13,862	△816	13,046

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への営業収益は、持株会社である当社で計上したものであります。

(2) セグメント利益又は損失(△)の調整額△816百万円は、セグメント間取引消去△70百万円及び各報告セグメントに帰属しない全社費用△746百万円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

2022年1月31日に行われたAIR PLANNERS(S) PTE.LTD.との企業結合について、取得原価の配分が完了していなかったため、のれんの金額は暫定的に算出された金額でありましたが、当第2四半期連結会計期間に取得原価の配分が完了し、暫定的な会計処理が確定したため、「物流事業」セグメントにおいてのれんの金額を修正しております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物流事業	商事・貿易 事業	ライフ サポート 事業	ビジネス サポート 事業	プロダクト 事業	計		
営業収益								
外部顧客への営業収益	243,194	83,022	23,095	6,514	23,694	379,521	157	379,678
セグメント間の 内部営業収益又は 振替高	2,060	7,270	75	3,780	15	13,201	△13,201	—
計	245,254	90,293	23,170	10,294	23,709	392,723	△13,044	379,678
セグメント利益	12,611	1,082	624	896	321	15,536	△765	14,771

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への営業収益は、持株会社である当社で計上したものであります。

(2) セグメント利益の調整額△765百万円は、セグメント間取引消去△94百万円及び各報告セグメントに帰属しない全社費用△671百万円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「物流事業」セグメントにおいて、長崎運送株式会社の株式を新たに取得したことにより、連結の範囲に含めております。当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては1,820百万円であります。なお、のれんの金額は、当第2四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。